

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。

B：児童への支援内容

利用児の年齢があがってきている為、活動内容がマンネリかしないよう、フレキシブルに考えている。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

適切に果たしている。
日々、信頼構築に努めている。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。
緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

十分なスペースが確保（100%の回答）

B：児童への支援内容

支援内容に満足との回答がメイン。

C：事業所からの情報発信

特記事項なし。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 施設の環境面への取り組みに対して、満足度が高い。
- ② 児童への支援内容への取り組み（事業所）に対して、客観的な評価（保護者）が高い。

【相違点】

特になし。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、毎回同じメンバーで同じ活動を継続する事が出来る。

事業所の改善点

- ・ブログ等を活用し、事業所での活動の様子が発信していきたい。
- ・コロナの感染状況に応じたプログラム運用をしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・新型コロナの感染拡大の収束が見通せる時期になったら、定期的な保護者会・講習会の開催を企画していきたいと思う。
- ・新型コロナの感染状況に応じて、フレキシブルにプログラムの内容を検討していく。
(但し、人によってリスクへの考え方が違うので、安全面を第一優先とする。)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

行政からは、保護者間の連携を求める取り組みが指示されているが、就労されている保護者も多く、必ずしもニーズが高いわけではない。

行政には、一律で、事業所に保護者連携の機会を義務化するのではなく、弾力的な対応をして欲しい。

事業所としては、今後も、利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供をするために、保護者からの意見を役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズ中田